

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名【新】インバウンド高付加価値化推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部観光誘客推進課海外誘客係 電話番号：058-272-1111(内3955)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 66,327 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	
要求額	66,327	0	0	53	0	0	0	0	66,274
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

世界的なインフレによるコスト高の影響で、県内観光事業者の収益性低下や事業継続が課題となっているため、県内の世界に誇る遺産等観光資源を活用した付加価値の高い旅行商品の造成やプロモーションを行うとともに、所得の高い顧客層に集中的にアプローチすること等により、県内観光事業の高付加価値化を行う必要がある。

具体的には、世界遺産・グリーンディステーションTOP100・岐阜未来遺産など世界基準の県内観光資源の海外旅行博・商談会でのプロモーション、OTA等と連携した高付加価値旅行商品の造成やプロモーション、トップセールス等の機会をとらえたハイエンド層とのネットワーク構築等により、インバウンドの高付加価値化を図る。

(2) 事業内容

■高付加価値の着地型体験コンテンツ商品造成【20,000千円】

外国人観光客の個人旅行化に対応し、サステイナブルなコンテンツを体験できる「高付加価値着地型ツアー」のオンラインプロモーションや旅行検索サイト及びOTAと連携した販売促進プロモーションを実施。

■旅行博等出展による世界に誇る遺産等高付加価値観光地PR事業【29,297千円】

海外旅行博や商談会等に出展し、世界遺産等を軸に高付加価値な岐阜県観光地をPR（対象：台湾、東南アジア、欧米豪など）

■高付加価値旅行者誘客プロモーション／地歌舞伎海外公演及び観光PR【17,030千円】

米国（ロサンゼルス）、欧州（フランス等）及び東南アジア等でのトップセールス等に合わせ観光PRイベント等を実施し、ハイエンドのネットワークを構築。

(3) 県負担・補助率の考え方

外国人観光客の誘致による観光産業の振興、県経済の活性化は県が率先して実施すべきものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	242	プロポーザル評価会議
旅費	10,387	県内アテンド、海外出張旅費等
需用費	3,528	県産品等
役員費	3,180	モバイル端末通信費等
委託料	48,640	旅行商品造成・販売支援、招聘、情報発信等委託費
負担金	350	V J T M、商談会参加費等
合計	66,327	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ④観光産業の基幹産業化
- ・岐阜県成長・雇用戦略
 - 2 各重要プロジェクト
 - [6]観光産業の基幹産業化プロジェクト
 - <海外市場>宿泊客誘致プロジェクト



(2) 国・他県の状況

- ・国、他都道府県においても同様の事業を実施しており、国、県が事業予算を負担

(3) 後年度の財政負担

- ・次年度以降も継続して実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・外国人観光客の誘致については、創生総合戦略でも位置づけた県の役割であり、事業費を負担する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

従来から岐阜県への来訪が多いアジア、欧米豪市場をターゲットに、集中的な旅行商品造成や現地における情報発信等を実施することにより、これまでのコロナ禍による落ち込みからの早期回復と本県を訪問する外国人観光客のさらなる増加を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
① 外国人延べ宿泊者数		12万人	70万人	120万人	200万人	6.0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本県の認知度向上及び外国人観光客の増加を図るには、一過性ではなく、継続かつ地道な取り組みが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス収束後のインバウンド回復については、県内宿泊施設をはじめ観光事業者からの要望も多く、県が海外誘客に積極的に取り組むことが重要であるので、コロナ前と同様に県内事業者との連携・協力により、継続して事業を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

【〇〇課】